

津市長賞



華胥のゆめ
岡本 望

津市議会議長賞



荷塘
彦坂 美保子

津市教育委員会教育長賞



帰郷
岩場 恵子

岡田文化財団賞



苔むす
錦織 典子

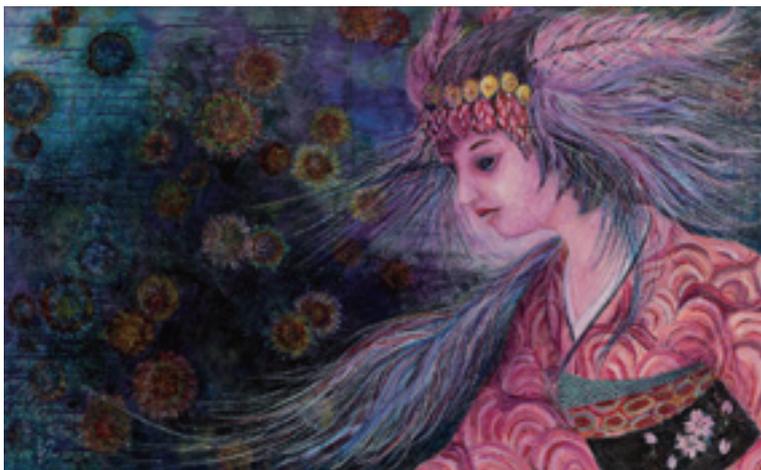
日本画 審査評

今回の日本画部門は、出品者も増え、しっかりと描いた作品が集まりました。作者の画面に向かった時間が感じられます。

墨彩画は、素材や技法に挑戦的なものも多く、部門としてバラエティに富んでいました。受賞作は、どれも独自の視点を持ちながらも、平面的で古典絵画を想起させる表現が観られます。

次回も心地良い感性で、意欲的に取り組んだ日本画作品に期待しています。

津市長賞



負けないで!
藤井 紀美子

津市教育委員会教育長賞



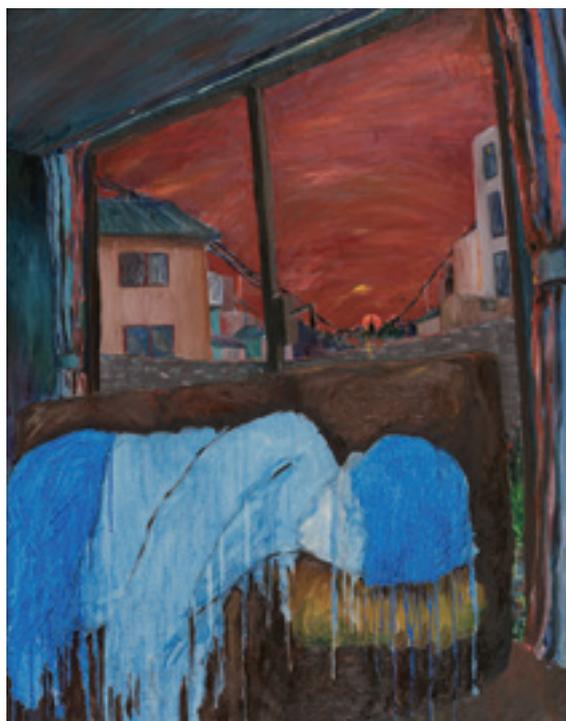
光と影
鹿間 剛

津市議会議長賞



ピオニーの頃
高梨 恵子

岡田文化財団賞



今日の終わり
大河 木曳

洋画
審査評

今回の市民展は幅広い表現の作品を多く出品されていました。
市長賞は社会状況の不安や悲哀の中に未来への期待を込めた思いを感じ力強い作品です。岡田文化財団賞は思春期の心の苦悩と不安を上手く表現されています。
議長賞は、色面構成に感性を上手く出しています。
全体的には技術的な表現追及が多かったが、独創的な豊かな感性で表現される作品を期待します。

津市長賞



ふたつのやさしい
中嶋 恵子

津市議会議長賞



エース
伊藤 良治

津市教育委員会教育長賞



風のつぶやき
西井 明

岡田文化財団賞



A
阿南 早也香

彫刻 審査評

今年度は、9点の応募に対し、全作品入選となりました。バリエーション豊かな作品群で、甲乙つけ難く、慎重に協議を重ね、審査しました。

市長賞のように美しいフォルムの追及をしている作品もあれば、議長賞のように、熱さを感じる作り込みの作品もありました。また、素材や技法へのチャレンジ感が伝わってくる作品もみられました。出品者の年齢層も10代から80代と広く、ジャンル幅も相まって、表情豊かな会場となりました。

津市長賞



Le jardin
後藤 愛

津市議会議長賞



遊戯
倉田 美道

津市教育委員会教育長賞



ダンシング フィッシュ
長井 和子

岡田文化財団賞



自由と不自由
伊藤 弥生

美術工芸
審査評

多種多用の作品があり楽しい審査でした。
市長賞を受賞した現代美術的な、彫刻的な陶芸作品や、力強く哲学的な自己表現の作品も光っています。伊勢型紙の彫刻技術作品は、近くで見るとオブ・アートなデザインを円の中に入れた現代の伝統工芸作品として優れた作品です。

集合作品や小作品では、技術的な鋭さや、集合作品としてのメッセージやテーマが伝わると、より良い作品となると思います。ガラス等の美しい作品も素敵です。

来年の出品作品が楽しみです。

津市長賞



Power
加藤 清史

津市教育委員会教育長賞



光芒の朝
椋下 光秋

津市議会議長賞



スタンバイ
村田 元

岡田文化財団賞



マスクマン
藤澤 任子

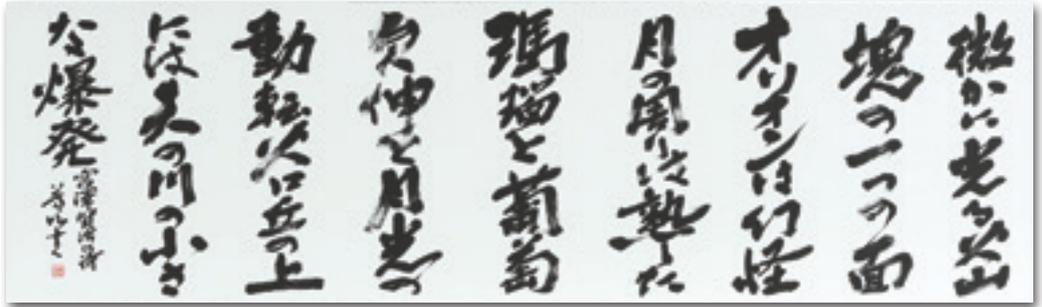
写真 審査評

応募点数は昨年より17点減少したが、入選レベルは高かった。特に入賞作品はバラエティーに富み素晴らしい作品が集まった。

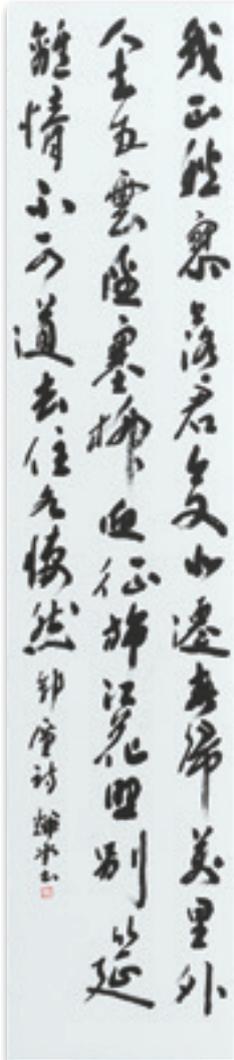
市長賞は作品の力強さがありシャッターチャンスが素晴らしい。議長賞は祭りの4人の子どもがすばらしく、特に左の子の表情が良く力強いモノクロ作品である。教育長賞は風景作品の代表で光芒が素晴らしい。岡田文化財団賞は古布でマスクマンを表現し、素晴らしい感性です。

津市長賞

宮澤賢治の詩
野呂 芳順

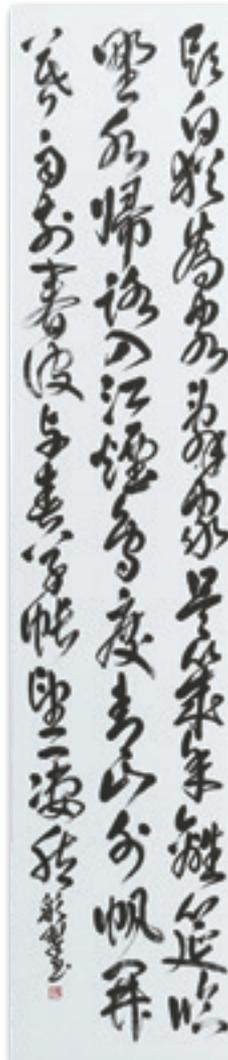


津市議会議長賞



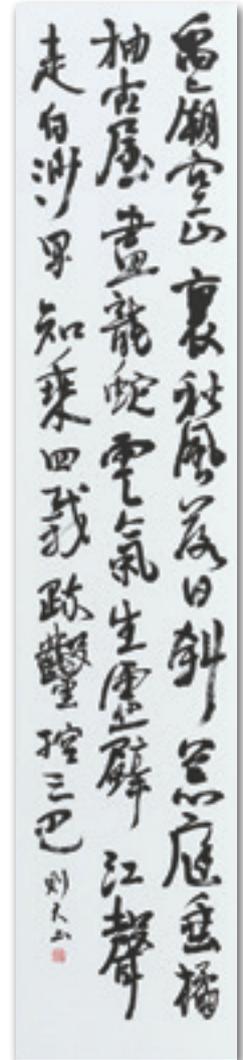
郭塵詩
塩谷 輝堂

津市教育委員会教育長賞



崔澂の詩
兼 彩翠

岡田文化財団賞



禹 廟
吉田 則夫

書
審 査 評

昨年より若干少ない出品点数となった。徹底した古典習熟の成果が表現された格調の高い作品が多かった。

市長賞は伸びやかで強靱な線、変化に富んだ構成、スケールの大きさが魅力である。議長賞は古典を基盤に線の練度を高め好感が持てる作品である。教育長賞は運筆自在で線質、構成、余白の美しさが素晴らしい。